北九P協しんぶん

発　行
北九州市PTA協議会
北九州市小倉北区大門一丁目6番43号
（北九州市立生涯学習総合センター2階）
☎（093）581－7268
発行責任者
会長 伊藤 一義

「九州は一つ」を合い言葉に!!

九州ブロックPTA研究大会
北九州市大会実行委員長
髙木　政則

「心をつなげよう、夢、希望、そして未来へ」をテーマに、第56回九州ブロックPTA研究大会北九州市大会が、10月22・23日にこ北九州市で開催されます。もちろん主催は北九州市PTA協議会、つまり私たち北九州市のPTAです。22日土曜日は各分科会、そして23日日曜日は、西日本総合展示場で全体会が開催されます。

「九州は一つ」を合い言葉に、PTAのあり方について研究・討議が行われるこの大会は、九州沖縄各県、政令市により持ち回りで開催されています。北九州市へは、ほぼ10年に1回のペースで廻ってきており、前回の第46回大会は全体会がメディアドームで開催されました。分科会も市内各区の市民会館を使用していましたが、今回は交通の利便性や集約化の利点を考え、10分科会のうち7つの分科会を小倉中心部に集めた会場設定となっています。

今回は九州沖縄各県・市から1万人近い仲間達が、ここ北九州市にいらっしゃいます。私たちの街北九州市にもしかしたら初めて来られるであろう方々に、北九州市らしさを感じていただけるような、そして実り多い素晴らしい研修大会だったと記憶していただけるような大会にしたいと、各区連合会から集まっていただいた大会実行委員会の仲間たちと、試行錯誤しながら準備を進めています。今回、全体会の講師にはNPOロシナンテス代表、川原尚行さんに「君の笑顔がみんなを幸せにする」という議題でご講演を頂きます。また今回、たぶんこの長い大会の歴史でも初めてこの事だと思いますが、市内PTAの皆さんから募集したフレーズを元に、地元で活躍されている音楽家の大内義昭さんに作曲いただき、テーマソング「七色の絆たち」を作成しました。これはすでに達のために頑張っている私たち自身のエールソングです。

この大会でも、、、会エンディングにて参加者全員で合唱し、感動のフィナーレを迎えたいと思っています。

私たち自身にとっても思い出深い経験になると確信しています。各校に参加人数の割り当てをお伝えしているかと思います。何かとお忙しい折とは存じますが、どうか10年に一度の地元での大会を楽しんでいただけたらと思います。また、22日土曜日の特別分科会において、九州PTA大会で活躍した、曽根東小学校の発表がありますので、子どもたちの発表に、期待下さい。

なお、大会当日は会場周辺が大変込み合うことが予想されます。特に日曜日全体会へ、JRやバス等の公共交通機関をご利用下さいますよう、お願いいたします。

シリーズ 環境について考えよう!

北九州市は、公害を克服し、環境先進都市として国内外から評価されており、10月に北九州市で開催される九州ブロック研究大会でも環境をテーマにした特別分科会で、学校・家庭・地域で取り組む環境活動について、九州各県から参加したPTAの皆さんとともに考える予定です。
そこで、P協新聞では、今回、活動が始まって10年という区切りが過ぎた牛乳パック再生によるリサイクル・トイレットペーパーの普及活動についてあらためて、ご紹介します。

えこっパーの誕生

「えこっパー」誕生は、北九州市が2000（平成12）年から使用済み牛乳パックの回収を始めたことがきっかけになりました。

（公財）北九州活性化協議会と大分製紙株式会社が共同で、この回収された牛乳パックをトイレットペーパーに再生し、再び北九州で使用することでリサイクルの環（わ）を地域で循環させようという意図で取り組み、環境にやさしい「芯無し」とし、「一般的なトイレットペーパーの2.4倍の長さ（130m／1ロール）」として取替えの手間を省く商品を開発し、2001（平成13）年4月から発売が開始されています。

市内小中学生の公募でネーミング決定

リサイクル・トイレットペーパーの活動を、市民にわかりやすく、地域におけるリサイクル循環のシンボル的存在となることを目指し、商品のネーミングは、市内の小・中学校へ公募し、5443点（5331名）の中から選定するとともに、ロゴマークは、昂学園総合専門学校の協力により、128点（45名）の中からそれぞれ選定して決定しました。

CO_2や木材伐採の削減に貢献

牛乳パックを作る木は、一度切り倒してしまうと、苗を植えて大きくなるまで150年かかってしまいます。

その木や森は、地球の空気や水を守っており、特に木は、空気中の二酸化炭素を吸収して、酸素を作り出す役割があります。このため、木が少なくなると、空気中の二酸化炭素が増え、地球の温暖化につながるといわれています。

また、1リットル入り牛乳パック1個をリサイクルすることにより、160g CO_2が削減できます。

（公財）北九州活性化協議会の担当者の話によると、「北九州市の小学校で、学校給食に出される牛乳パックは1日に約5,000個で、1年間で約1,020万個になります。

この約1,020万個の給食牛乳パックを作るために、約8,000本の木がおおよそ3,200本も切り倒されている計算になるので、学校現場における牛乳パックの回収はたいへん重要です」と牛乳パックの再生という身近な取り組みが、自然環境を守る大きな取り組みにつながることを期待しています。

えこっパーの売り上げは子ども達に還元

「えこっパー」は、北九州市の施設や（公財）北九州活性化協議会の会員企業で使用するほか、スーパーやホームセンター・商店・薬局などで販売しています。

大分製紙（株）は1パック（6ロール入り）の売り上げ毎に1円を（公財）北九州活性化協議会（寄附し、同協議会は、その寄附金を全額、子どもの環境教育に役立ててもらおうと北九州市PTA協議会（以下「P協」）へ寄附されています。

寄付金の額も、2001（平成13）年から2010（平成22）年までの10年間で合計約200万円を超えるなどP協の貴重な財源となっており、毎年、P協の総会時に贈呈されています。

（公財）北九州活性化協議会（もったいない総研）環境の話

「えこっパー」は多くの市民や企業の協力によって実現した、世界の環境首都を目指す北九州市の誇るべき北九州ブランドです。

学校現場おいては、ぜひこの機会に、あらためて、牛乳パックの回収にご協力をお願いします。また、保護者の方には、「えこっパー」の購入についてご協力ください。

《詳しくは》もったいない総研　検索

いろいろな危険からお子さまをお守りする
北九州市PTA協議会 推薦
小・中学生総合保障制度のご案内
こども総合保険　自転車総合保険
本制度の特徴
❶ PTAを窓口とした団体割引（約26%引）により個人で加入するより掛金が割安です。
❷「傷害（ケガ）補償」・「個人賠償責任補償」・「育英費用補償」の3つの補償でバックアップ!!
❸ 医師・看護師・ヘルスカウンセラー等による健康相談が24時間通話料無料で受けられます。
❹ セカンドオピニオン アレンジサービスがついています。❺ 児童・生徒が病気をされた場合の補償プランも選べます。
❻ 新設 ご要望におこたえして、自転車事故増額補償オプション「Jプラン」を新設しました。
守ってあげたい!子供たちの笑顔
〈北九州市PTA協議会 小・中学生総合保障制度お問合せ先・引受保険会社〉
AIU保険会社 エイアイユー インシュアランスカンパニー 北九州支店（小・中学生総合保障制度係）
［住　所］〒802-0004 小倉北区鍛冶町1-10-10 大同生命ビル10F
［電話番号］093-511-3821［受付時間］午前9時～午後5時まで（土・日・祝・年末年始を除く）
*本制度の補償期間は平成23年5月1日～平成24年5月1日（1年間）までとなっております。補償期間の中途からのご加入者の場合には上記の問合せ先までお問合せ下さい。
この広告は補償の概要を説明したものです。詳細につきましては、パンフレットをご覧いただくか、上記お問合せ先までお問合せ下さい。

いんたびゅう ～北九州出身の先輩に聞く～

プロサッカー選手 池元（いけもと）友樹（ともき）さん

［プロフィール］池元 友樹（26）
・背番号11 FW　・身長170cm
・体重68kg　・北九州市小倉北区出身
中井サッカー少年団→思永中学校→東福岡高校→CAリーベル・プレート（アルゼンチン）→ニューウェーブ北九州→FC岐阜→柏レイソル→横浜FC→ギラヴァンツ北九州

8月某日、地元ギラヴァンツ北九州で活躍中の池元友樹選手に練習後にお忙しい時間をいただいて、サッカーに出会ってからの人生観や、プレー中には見えない池元選手の素顔とともに話を聞くことができた。

本当に僕は出会ってきた人たちに恵まれていた

小学1年生で、サッカーを始めた。

本当は野球がしたかったんだけど、近くになくて、入ったのがサッカーのクラブチームだったが、楽しくなってすぐにサッカーが大好きになった。

チームメートがものすごく上手くて、チームメートに負けたくないと頑張った。

中学も同じメンバーで思永中学校サッカー部に入り、県選抜にも選ばれ、そこでも凄く上手な人と出会った。

「こいつともっと一緒にサッカーをやりたい!」とその人が東福岡高校へ行くと聞いたので、一緒にサッカーをするために東福岡高校へと進んだ。

サッカーばかりの環境にいたが、高校3年になるまで、プロを特に意識することはなかった。

Jリーグとかプロの世界の事よりも、自分よりレベルの高いチームメイト達にずっと憧れながら「目の前の人たちより上手くなりたい」と思って頑張った。身近だから余計に良いライバルとして頑張ってこられた。

しかし高校3年の進路相談で、大学進学かサッカーのプロへの道か2択になって、サッカーのプロへの道を初めて言葉にして意識するようになった。

©Giravanz

海外に特に興味があった訳でも無かったが、アルゼンチンの名門CAリーベル・プレートのテストを受けることになり合格。

スペイン語もわからないままアルゼンチンでの生活が始まった。

言葉やコミュニケーションに苦労をしたけど、得るものは大きかった。

アルゼンチンの選手達のサッカーに対する姿勢・気持ち・技術・モチベーションが、考えていたものとは全然違った。

アルゼンチンに行ったことは、今までで一番って言ってもいいくらい良い刺激になった。

北九州に戻り、中学の時の恩師から声がかかりニューウェーブ北九州（ギラヴァンツ北九州の前身）に入った。

ニューウェーブ北九州でも活躍し、他のチームをいくつか経て、現在はギラヴァンツ北九州に在籍。

北九州の子ども達へ

経験したから言えることだけど、「目標が大事」「この人に負けたくない」って気持ちから僕は今まで頑張ってこれたと思う。

「こういう風になりたいからこうしよう」と思って頑張る、そんな目標を持つことが大事。大きな目標には段階があるので、すぐには届かなくても、小さな目標でも少し上の目標を決めて努力して、ひとつひとつクリアしていく事を積み重ねながら、どんどん目標を変えていくと、気がついたら大きな目標にも届くと思う。

©Giravanz

池元選手の目標

目標はずっと変わらない。子どもの頃からずっと思い続けていること「もっともっとうまくなりたい」

もっとギラヴァンツ北九州で活躍したいし、他のチームの有名な選手にも負けたくない。

サッカーをしていなかったら?

なんて考えられない位ただただ、それだけを思ってサッカーを続けてきた。

ギラヴァンツ北九州の選手として

お客さんも毎試合増えてきているから本当に感謝しています。子ども達にサッカーを教えるイベントに参加したことがあります。「僕のシュートを是非見たい」という子ども達が増えるようにシュートを決めて活躍したり、ワクワクするような熱い試合をお客さんに見せたいです。

ギラヴァンツ北九州を見にお客さんが来てくれて盛り上がると、もっと気持ちも高まるので是非見にきてほしいです。

小学1年生で大好きなサッカーと出会い、努力し続ける事でたくさんの素晴らしい仲間との出会いと環境を引き寄せてきた北九州出身のサッカー選手池元選手の今後の活躍がとても楽しみです。

ギラヴァンツ北九州公式HP
http://www.giravanz.jp/

北九州市の小学校外国語活動について

北九州市では、平成21年度より2年間、新学習指導要領の移行期における先行実施として小学校5,6年生を対象に年間35時間【週1時間】の外国語活動を実施してきました。平成23年度からは、小学校の新学習指導要領が全面実施され、小学校5,6年生を対象に年間35時間【週1時間】の外国語活動が行われています。

授業は、学級担任を中心にALTの協力を得ながら実施されています。主教材として、文部科学省より配布された「英語ノート1」（小学校5年生用）「英語ノート2」（小学校6年生用）を使用しています。また、動画と音声が同時に出る英語ノートのデジタル教材やALTを活用して、英語のリズムに慣れ親しんだり、英語での簡単なやりとりを使ったゲームなどを行ったりして、楽しく活動しています。

外国語活動の目標は、「外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う」とされています。つまり、小学校の外国語活動は、中学校の英語科の学習とは異なり、「国際理解の視点から言語や文化について理解し、違いに気付くこと」や、「外国語を話したり聞いたりする中で、積極的に自分の伝えたいことを簡単な英語を使って話したり、友だちの話を聞いたりしようとするコミュニケーションへの関心・意欲・態度を育てること」をねらう学習であると言えます。

comment_no.1

教育委員会教育振興担当課長のコメント

「社内の会議は英語で」という企業が日本の中にも登場してきました。現在の小学生が大人になったとき、多くの企業で英語によるコミュニケーションが行われているかもしれません。また、外国の人と一緒に仕事をする機会も増えてくることでしょう。

今回、小学校の教育課程に外国語活動が位置づけられたことで、子どもたちが英語に慣れ親しみ、人とのコミュニケーションを図ることを楽しむようになってほしいと願っています。

中学校の学習としての英語の前に、小学校では、英語の簡単な言葉や表現を使ってみること、歌やリズムで英語を口ずさんでみること、友だちやALTの先生と英語で話してみることなど、たくさんの楽しい体験を積み重ねることが、大切になります。

ご家庭でも、子どもが外国語活動で習った簡単な英語でやりとりしたり、身の回りのものを「英語で何ていうのかな?」「今どんな英語を習っているの?」と尋ねたりするなど、関心をもって話しかけていただけることを是非お願いします。「今から3分間は英語とジェスチャーでお話してみよう」など、家族で英語を楽しむ時間をつくることもよいのではないでしょうか。

comment_no.2

学校現場の教員の感想

○ 歌やゲームなど、英語を使う楽しい活動があるので、子どもたちも喜んでいます。
○ 児童がALTや友だちと英語で楽しくやりとりをする様子がよいと思います。
○ 児童が意欲的に活動することができるチャンツやゲームをALTとともに取り組み、楽しい雰囲気の中で授業をすすめています。
○ 電子黒板やALTを活用しながら、学級担任を中心に楽しく授業が行われています。
○ 英語の活動に活発に取り組む児童がふえてきました。

comment_no.3

教育委員会の所感

平成21年度、平成22年度の移行期から先行実施していたことが功を奏し、学級担任を主体とし、ALTや電子黒板等を活用した楽しい外国語活動が展開されています。児童も大変活発に学習に参加しています。

今後は小学校外国語活動と中学校の英語科の円滑な接続を目指して、小学校と中学校が互いに連携を図りながら外国語教育をすすめていくという視点から、モデルとなっている4中学校区の実践事例を全市に示し、広げていきたいと考えています。

● 各校PTA・学校の話題 ●

information_no.1

PTAの組織と活動
門司海青小学校（門司区）

問い合わせ先:門司海青小学校 TEL093−331−1708

門司海青小学校の紹介

平成7年に旧錦町小学校と旧丸山小学校が統合して開校。平成9年に、おうぎ形をした特徴的な校舎を新築しました。古くから門司港地区の中心（門司港駅や門司区役所、栄町商店街など）にある学校としての誇りをもっています。

平成21年度文部科学省の調査研究事業を受け、各教室に「電子黒板」を配置「わかる授業」の実現のために、その活用方法を研究中です!

本校PTAの組織

総　会
理事会
役員会

学年委員会	広報委員会	保健厚生委員会	成人教育委員会	父親委員会
○交通当番作成・配布 ○学年PTA行事の準備・進行	○広報誌企画・構成・配布	○給食試食会企画・運営 ○学校保健委員会の開催 ○ベルマーク収集 ○応急手当講習会の実施	○家庭教育学級の企画・実行	○年に2～3回のレクリエーションの企画・運営

③親子deおそうじ大会 アンケート結果から

本校PTAの活動［本校の中心的な活動］

①校内キャンプ（4年生）
目的:集団宿泊体験を通して、子ども同士、親同士、子どもと親のふれ合いを深める。

校内キャンプ実行委員会
4年生の学年委員・4年生の保護者（希望）
＋
時間帯による4年生保護者のお手伝い

活動内容（本年度の内容）:・児童文化科学館の小山田先生による児童参加型の科学実験、キャンプファイヤーやお楽しみ会（地域の遊びの達人中野さんの指導のもと）

②門司海青バザーと門司海青まつり
バザーとおまつりを隔年ごとに実施⇒・毎年バザーをするのではなく、子どもたちがもっと楽しめるものに。・保護者の負担の軽減のために。

門司海青バザーの様子 全委員会
不要品、食べ物のバザーと子どもたちも楽しめるゲーム

門司海青まつりの様子 父親委員会
的当てなどの体育館の中でのゲームやグランドゴルフなどの運動場での遊び

③親子deおそうじ大会…役員会

下関そうじに学ぶ会の皆様のご指導とご協力をいただき、実施!

目的:トイレ掃除を通して親子で一緒に掃除をする機会を!
親子で一緒に心を磨く体験を!
感想から:○掃除を一生懸命することがいいなと思った。
○親子ですることに意義があると感じた。定期的に続けてほしい。
○1学期に1回くらいのペースでやると、もっと学校がきれいになって良いと思う。

④交通当番…全保護者
当番の割り振り～学年委員会（当番日に立てない場合は、立てる曜日の人と交代して）

⑤門司中学校区5校合同会議
目的:（当初）門司中学校区内の「子ども110 番の家」設置協力のための会議として始まる。
⇒門司中学校区内の小・中学校の学校教育活動、PTA活動についての情報交換や交流
実施方法:○年2回開催 ○各校輪番制で、教育実践やPTA活動の紹介

おわりに…今後の課題
○より多くの保護者にPTA活動に参加していただけるような目的意識をはっきりさせること
○PTA活動や行事の精選

子どもたちや親同士のつながりをより一層深める門司海青小学校のPTA活動を!!

information_no.2

こころを耕すふれあい活動
八児中学校（八幡西区）

問い合わせ先:八児中学校 TEL093−613−0382

八児中学校では、「土に触れ」「人に触れ」「心を耕す」を理念に、生徒会が中心となって、毎年自分達で育てたお米で餅つきを行い、ついたおもちを地域に住んでいる一人暮らしの年長者に配る活動を実施していました。

この活動がはじまった当初は、地域の人たちの協力を得て田んぼを借り、生徒が稲作を行うというものでしたが、地域の人たちとの交流や体験を通じ、心を耕したいとの思いから、お米をもち米に変え、田植え（6月）・稲刈り（10月）・餅つき（収穫祭）と年間を通じて地域の人と取り組む行事に育ててきました。

特に、餅つきは収穫祭と位置づけ、全校生徒、保護者、地域の人の約400人が参加する賑やかな行事になっています。

ついたお餅には、生徒のメッセージを添え、一人暮らしの年長者を訪問し、生徒が手渡しで配っていました。

また、餅つきのあとには、学校の畑でとれた野菜を使用した豚汁を作り、参加者全員にふるまい交流を深めています。

このような八児中学校の取り組みは、善行やボランティア活動、文化的・体育的活動等で顕彰すべき行為のあった中学生を表彰する久保田賞を平成21年度に北九州市教育委員会から授与されています。

稲作という農業体験を通じて、地域のたくさんの人たちにふれあうことによって、中学生の心が耕されるという八児中学校の取り組みに今後も期待したいと思います。

（参考）
久保田賞は、元若松市議会議長として活躍された、故久保田瑞一氏のご遺族から「亡くなった父親の生き方から、中学生の健全育成に役立ててほしい。」という意向で、北九州市に寄付されたことを契機に創設された賞です。

information_no.3

災害から子どもを守る
小倉北特別支援学校PTAの取り組み

問い合わせ先:小倉北特別支援学校 TEL093−592−2103

今年3月11日、東北大震災による防災意識が強まる中、三年前に小倉北特別支援学校PTAが、第34回北九州市特別支援学校PTA連合会研修大会で発表した、「障害児（者）と家族のための防災について」が、知的障害児（者）の保護者の間で注目されている。

平成19年の家庭教育学級で「自分の子どもを守れますか?」というテーマのもと、防災について学んだことをわかりやすくまとめたものである。きっかけとなったのは、平成17年3月20日に大きな被害をもたらした福岡県西方沖地震を経験した福岡市の特別支援学校PTAから頂いたSOSファイルだった。

知的障害児や自閉症児は周囲の環境の変化にうまく対応することが困難、特別支援学校に通学しているため地域との関わりは希薄、家庭で備えておくべきこと、学校やPTAで出来ること、行政にお願いしたいこと…などなど。学校のホームページに紹介されている内容は、他人ごとではない被災に、しっかり向き合うことの大切さを教えてくれる。

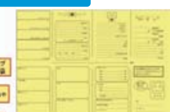
いろんなグッズも考案し、紹介されており、中でもPTAが新たに作成した「私の紹介ノート」は、携帯できるように工夫されている。

最後に、地域と疎遠になりやすい環境にいる子どもたちを、親の立場から考え、記載された文章を紹介します。

＊詳しくは小倉北特別支援学校のホームページでも確認することができます。
http://www.kita9.ed.jp/kokurakita-s/

防災ベスト

私の紹介ノート



グッズの一部です。

これからは、地域との関係作りを普段から積極的に行い、子ども達のことを理解してもらえるチャンスを作っていきたいと思います。そして『自助』を中心としつつ、『共助』を求めながら、『公助』でこれを補うという考えの基に防災意識を高めていきたいと思っています。防災にあたっては、『防災の知識よりも意識、技術よりも心』さらに、その意識を行動に結びつかせていけるように、今後も本校PTAでは、取り組みを続けていきたいと考えています。最後に、この発表が「北九州市の障害児（者）のための防災対策への取り組み」を発展させるきっかけになればと願います。

平成23年度 北九P協 役員・監事紹介

	役職	氏名（学校名）
前列左から	副会長	平野 千絵子（小倉北特支）
	副会長	藤田 武男（花尾中）
	副会長	曽我部 駿介（黒崎中央小）
	会長	伊藤 一義（高見中）
	副会長	古賀 隆博（大里東小）
	副会長	野田 守隆（思永中）
	副会長	中川 伸也（中央高等学園）
後列左から	副会長	金丸 勝利（貫小）
	副会長	中口 久美子（松ヶ江中）
	副会長	神田 紀久男（大里南小）
	監事	名越 雅康（志徳中）
	監事	秋月 裕幸（赤崎小）
	副会長	太田 敦（板櫃中）
	副会長	樋口 樹子（霧ヶ丘中）
	副会長	髙木 政則（大谷中）
	監事	梅本 千鶴（企救特支）
	副会長	羽柴 泰輔（穴生中）

各校の話題募集!

北九P協新聞では、各校の話題や取り組みなどの情報を広く募集します。

PTAや学校の行事などでPRしたいものがあれば、ぜひ情報を提供してください。

例えば、各校のPTA新聞に掲載したときの原稿や写真、各校で作成した原稿（800字程度）など。

ご応募いただいた資料を基に、P協新聞編集部（委託事業者）が原稿を作成し、各校に内容の確認や校正をお願いする予定です。（できる限り掲載する予定ですが、紙面の都合により、掲載できない場合もあります）

【応募方法】
PRしたい事業の資料や写真または原稿、連絡先をP協事務局まで郵送してください。

〒803−0811
北九州市小倉北区大門一丁目6番43号
（北九州市立生涯学習センター2階）
北九州市PTA協議会P協新聞編集部